



栃木市国際交流協会 だより

2019年3月31日発行

Tochigi City International Center

第11号

2019 とちぎインターナショナルまつり



3月10日（日）、毎年恒例の「とちぎインターナショナルまつり」を、とちぎ山車会館前広場で開催しました。初めて蔵の街の中心で開催したこと、天候にも恵まれて、多くの来場者で賑わいました。

ステージでは、15団体が次々に素晴らしいパフォーマンスを披露し、観客も一緒になって大いに楽しみました。また、世界の料理や物販の店が14店舗出店し、各国の料理を買い求める客で行列ができていました。

日本人も外国人もお互いに協力し合い、コミュニケーションを図ることで、楽しい時間を共有することができました。

イチゴ狩り&BBQ



5月27日(日)、都賀地域のイチゴ農家のご協力で、イチゴ狩りを行い、中国、ペルーなど75人が参加しました。

大粒でみずみずしい「スカイベリー」の大きなハウスを2棟開放していただき、参加者は、箱一杯、甘くておいしいイチゴを摘むことができました。

イチゴ狩りの後は、つがの里のバーベキュー場で、バーベキューを楽しみ、交流を深めました。

防災教室



6月24日(日)、外国人住民を対象に、栃木県防災館へ行き、大地震、火災、大雨、大風などの災害を体験

する防災研修を行いました。

ネパール、ベトナム、スリランカなどの24人が参加し、防災に対する意識を高めていただきました。

また、宇都宮市の大谷資料館へも立ち寄り、幻想的な巨大な地下空間を体感しました。

ぶどう狩り&BBQ



9月2日(日)、大平地域のぶどう農園で、ぶどう狩りを行いました。

ベトナム、フィリピン、中国など94人が参加し、一人2房ずつ大粒で甘いぶどうをとりました。

ぶどう狩りの後は、かかしの里のバーベキュー場で、グループに分かれて、野菜をカットしたり、肉を焼いたり、和気あいあいとバーベキューを楽しみました。

着物で街歩き 和菓子作り 茶道体験



11月4日(日)、着物を着て、蔵の街を散策しながら、和菓子作りや茶道などを体験し、日本文化に造詣を深めていた

だくイベントに、ベトナム、ミャンマー、スリランカ出身の留学生や技能実習生など33人が参加しました。

また、たくさん撮った写真を母国の家族や友人に、SNSなどを通して送っていただき、栃木市の良さを海外へも伝えていただきました。

国際交流バスツアー



12月2日(日)、中国、ペルー、ポリビアなど13か国、43人が参加して、山梨県方面へバスツアーに行きました。

山梨県立リニア見学センター、忍野八海、大石公園などをめぐり、最後は、東京稲城市にある「よみうりランド」でイルミネーションを楽しみました。

当日は天候に恵まれ、雄大な富士山の全景を見ることができ、参加者は大喜びでした。

日本家庭料理教室



四季折々の材料で手軽に作れる日本料理教室を第4地区コミュニティセンターや大宮公民館の調理実習室で行いました。



ペルー人など参加者の皆さんは、習った料理は、自分の家でも作っているそうです。

第14回日本語スピーチコンテスト



▲主催者、来賓、審査員と記念撮影



▲最優秀賞のヌル サムシアさん



▲交流会の様子

＜上位入賞者＞

賞	氏 名	出身国	タ イ ト ル
最優秀賞	ヌル サムシア	インドネシア	技能実習の経験と私の夢
ソロプチミスト賞	ウィン マー ウー	ミャンマー	私の村は私が救う
優秀賞	ロン クンティアマリッ	カンボジア	辛い過去を経ていい将来に
優秀賞	スナル ニルマル	ネパール	しあわせ
特別賞	バートルクー ウランゴー	モンゴル	神様
特別賞	ファム ヴァン キー	ベトナム	日本が私にくれた2つのプレゼント

1月27日（日）、栃木グランドホテルにて、国際ソロプチミスト栃木との共催で、日本語スピーチコンテストを開催しました。今年度は、ベトナム、ミャンマー、ネパール、インドネシア、モンゴル、中国など10か国17人が出場しました。

年々発表者のレベルが上がっていますが、今年は特に、自分の将来の夢や本当の幸せとは何かを問うなど、スピーチの内容が素晴らしく、聴衆の感動を呼んでいました。

アトラクションとして、「音楽を楽しむ会」の皆様によるオカリナ、ピアノ、バイオリン、琵琶などの演奏を楽しみ、最後には、会場の全員で「ふるさと」を大合唱しました。

また、交流会では、國學院大學栃木短期大学の「みたらし会」の皆様との進行で、ゲームなどを行い、発表者も応援団も一緒になって、大いに楽しみました。

外国語講座



6月から11月にかけて、英会話（初級・中級）、ドイツ語会話入門、スペイン語会話入門、ハンガール基礎入門など6つの外国語講座を、入舟庁舎や市民会館を会場に、それぞれ20回開講しました。

講師の先生とも親しくなるにつれ、20回が終了しても継続して勉強したいという希望の方も多く、現在もOB会として学んでいる方々がいます。

日本語ボランティア養成講座



市内の外国人住民のために、ボランティアで日本語指導ができる人材を養成する講座（全5回）を開催しました。

講座では、地域における日本語ボランティアの役割や日本語の構造について、また日本語のテキストを使って、実際の教え方を学びました。

養成講座を終了した人の中には、現在行っている日本語教室でボランティアとして活躍してくださっています。

外国人住民のための防災教室 ▶▶▶▶▶▶



11月18日（日）、栃木中央小学校の体育館で、外国人住民を対象にした防災教室を開催しました。中国、ベトナム、ネパール、ペルーなどの皆さんが参加しました。栃木県防災士会の稲葉茂理事長の講義で、防災の基礎知識を学んだあと、避難所探しや避難所体験をしました。また、栃木市消防署隊員の皆さんのご指導のもと、救急救命のAEDの使い方を学びました。参加者は、「役に立つ知識がたくさん学べてよかった」と喜んでいました。

災害時の外国人支援って何？ ▶▶▶▶▶▶



12月15日（土）、栃木公民館講堂において、栃木県と公益財団法人栃木県国際交流協会が主催で、地域住民と外国人住民が共に安心して過ごすため、災害時の備えや支援について考える講座を開催した際、栃木市と共に共催しました。

この講座には、当協会会員や社会福祉協議会の職員など49人が参加し、前半は、講師の柴垣禎氏の外国人への情報伝達のポイントや留意点、外国人支援の必要性などについて講演を聴きました。後半は、グループに分かれて、外国人協力者の体験談を聴きながら、意見交換を行いました。

市内施設めぐり ▶▶▶▶▶▶



4月29日（日）、外国人住民の皆さんに、栃木市の魅力を知っていただくために、市内施設めぐりを開催しました。

コースは、にしかたいちご祭り～太平山神社～栃木市おおひら郷土資料館「白石家戸長屋敷」～蔵の街遊覧船～とちぎ山車会館をめぐるしました。

今回は、ペルー、ブラジル、ロシアなどの41人が参加しましたが、長年、栃木市に住んでいても、初めて体験することがたくさんあって、大変楽しかったそうです。

国際理解教室 ▶▶▶▶▶▶



5月から12月にかけて、市内の小中高등학교へ外国人講師を派遣し、外国への関心と理解を深めていただきました。



今年は、市内の専門学校生の協力があり、吹上小学校や栃木西中学校で、ネパールの紹介をしていただきました。

外国人ボランティアガイド育成研修会 ▶▶▶▶▶▶



3月21日（木・祝）、市内在住の外国人の方に、栃木市の観光資源の魅力や江戸文化について理解を深めていただき、外国人向けのボランティアガイドとして、外国人観光客を案内していただくため、市からの委託事業として、研修会を開催しました。

中国、タイ、マレーシア、ボリビア、スリランカなどの12人が参加し、観光案内ガイドとしての心得やインバウンドの状況などについて講義を受けた後、実際に観光スポットを回り、案内の知識を学びました。

浙江省对外友好協会訪問団



6月19日（火）、栃木県の友好省である浙江省から、鄭竹筠（ていちくきん）浙江省对外友好協会副秘書長を団長とする訪問

団一行5人が大川秀子市長を表敬訪問しました。懇談は、とても和やかな雰囲気の中行われ、今回の団員の一人として来られた金華市外事與僑務弁公室の張遠平（ちやうえんぺい）副主任から、海外の大学生が金華市の古い村で、中国の伝統文化を体験できるホームステイプログラムがあることについて、熱心な説明がありました。

東陽市外国語小学校訪問団



7月3日から9日まで、東陽市外国語小学校訪問団24人が来訪しました。

市内滞在中は、岩舟小学校を訪問し、姉妹校提携の調印式を行いました。また、授業や給食を体験したり、特技を披露し合う交流会の中で、岩舟小学校の児童とかけがえのない友情を育みました。

市内の家庭に2泊ホームステイしたことは、一生の宝と言える思い出になったと感激していました。

金華市訪問団



10月25日（木）、陶葉萍（とうようへい）金華市副市長を団長とする訪問団一行10人が大川秀子市長を表敬訪問しました。

大川市長から歓迎の挨拶を受けると、陶副市長からも、今後ますます両市の友好交流が発展することを期待するという挨拶があり、和やかな雰囲気の中、懇談が進められました。

また、訪問団は、市内の先進的なトマト栽培の農家を視察し、その栽培技術のレベルの高さと収量の多さに驚いた様子でした。

金華市経済視察団



12月17日（月）、楊堅明（ようけんめい）金華市政治協商會議副主席を団長とする訪問団一行10人が、大川秀子市長を表敬訪問しました。

今回の訪問団団員には、水の再生利用や情報技術に係わる民間企業者も含まれており、今後は、経済の分野での交流の推進も要望されました。

短い滞在時間でしたが、市役所の職場環境や大通りの街並みの美しさに、大変感銘を受けたそうです。

世界の料理交流会 イタリア料理編



1月19日（土）、大宮公民館調理実習室において、地中海の島、サルデーニャ出身のマリア バレンティナ マッチオーニさんを講師にお招きし、イタリアの郷土料理を学びました。

メニューは、前菜にブルスケッタ、メインはチェーチ（ひよこ豆）を使ったショートパスタ、デザートはトルタ マルゲリータというシンプルで味わい深い伝統菓子を作りました。

最後には、バレンティナさんが、直火式のエスプレッソマシーンで、イタリア人にはかせないエスプレッソコーヒーの入れ方を実演してくださいました。

想像以上に丁寧で、手の込んだ料理作りでした。イタリア定番のハーブ、ローズマリーの香りが漂う中、本場のイタリア料理を楽しむことができました。

エバンズビル便り 姉妹都市留学プログラム参加者からの報告

南インディアナ大学

南インディアナ日本人補習校講師

佐藤 慎太郎

姉妹都市留学プログラムにより、2017年の7月から、アメリカのインディアナ州にあるエバンズビルで生活しています。エバンズビルはとても穏やかな住みやすい所です。

私が通っている南インディアナ州立大学には、世界各国からたくさんの留学生が学びに来ています。親身になって相談に乗ってくれる先生ばかりで、留学生に対してのサポートをととても手厚く行ってくれる大学です。そして、大学には多くの学部や専攻があり、様々な分野の勉強ができる環境が整えられています。私自身、留学前は、日本で専攻していた教育学をアメリカでも学ぶつもりでした。しかし、留学中に他の学問分野も学べることを知り、現在は自分の専門である教育学部に身を置きつつも、心理学、美術、哲学、栄養学、ヘルス、コンピューターサイエンスなど、日本では勉強したことのなかった領域について学んでいます。



▲世界各国からの留学生仲間



▲日本人補習校の先生と生徒

また、現地での学生生活だけでなく、補習校での教員生活も大変充実しています。勤務先である南インディアナ日本人補習校では、毎週土曜日に現地に住んでいる日本人の子ども達に勉強を教えることや、定期的に運動会や学習発表会、遠足などの学校行事も行います。補習校での勤務はとても楽しく、子ども達の笑顔を見られ、平日に勉強を頑張る私たち留学生にとってリフレッシュできる時間でもあります。

留学生活がスタートして1年半が経ちました。振り返ってみると、本当にあっという間で毎日が冒険でした。日本と違う働き方、食生活や道路のルールなど、驚くことはとてもたくさんあります。しかしながら、そのようなアメリカでしかできない経験を通して、国際感覚及び多文化理解、どうやったら困難を乗り越えることができるのか、人と繋がることの大切さ等の生きていく上で大切なことについて実感を持って学ぶことができました。そして何よりも、アメリカという世界各国からいろいろな人々が集まる環境に長期的に身をおくことで、日本のことを客観的にみる視点を持てたことや、今まで気がつかなかった栃木市のよさを深く感じる事ができたことが留学経験を通しての財産だと思います。

私は、留学を終えた後、栃木市に戻り、小学校の先生になる予定です。アメリカ生活で得られた貴重な経験をもとに、栃木市の教育現場に貢献できる人材になれるよう、残りの留学期間もより一層実りある時間になりたいと思います。

※2019年度の姉妹都市留学プログラムは、1名が合格し、7月にはエバンズビル市に赴任する予定です。



▲アメリカ人のルームメイト

とちぎで生きる

第11回

栃木市で活躍する外国籍の方を紹介するコーナーです。



▲熊倉スパッターラーさん

熊倉さんは、タイ語の通訳や翻訳のボランティアとして活躍しています。

タイ王国 Ratcha Anachak Thai

面積 51万4000平方キロメートル（日本の約1.4倍）

人口 6572万人（2015年）

首都 バンコク

言語 タイ語



私が生まれ育ったタイ、チェンマイは首都のバンコクより北部にあります。タイ第2の都市チェンマイは、「北方のバラ」とも称される美しい古都と言われます。チェンマイは山に囲まれていて気候がよく、バンコクよりもやや物価が安いです。割と日本に近い気温で、チェンマイ在住の日本人がたくさんいます。

初めて来日したのは、約20年前、私が高校2年生の時でした。京都府内のホストファミリーで色々な経験をさせていただきました。日本語に興味があり、せっくなから日本で勉強したいと思い、高校卒業後、2回目の来日となりました。入学した大学は大分県別府市にある立命館アジア大学でした。そこでは外国人の留学生がたくさんいた中で日常会話は英語でした。このままだと日本語がうまく話せないのではないかと思い、日本人の友達をたくさん作りました。



そのおかげで今では日本語能力を活かして、栃木市や栃木県内外の様々な通訳、翻訳の仕事をさせていただいています。主に、栃木刑務所に在勤しています。

これからも色々な経験を生かして頑張っていきたいと思います。

◀ふるさとチェンマイのコムローイ祭り
無数のランタンが夜空に舞う幻想的な光景が見られる。

在住外国人相談窓口業務

スペイン語の相談員が対応しています！

毎週火曜日	栃木市役所 市民生活課外国人相談窓口	9:00～17:00
毎週木曜日	栃木市国際交流協会外国人相談窓口	9:00～17:00
第1・第3水曜日		

☆通訳・翻訳業務を承ります。

会 員 募 集 !

協会事業は、会員の皆様のご支援とご協力により運営されています。

ぜひ、趣旨にご賛同いただける方は、会員にご加入ください。

- | | | |
|-------------|----|---------|
| (1) 個人会員 | 年額 | 2,000円 |
| (2) 家族会員 | 年額 | 3,000円 |
| (3) 団体・法人会員 | 年額 | 10,000円 |

外国人住民向けに、FMくらら857「とち介PのHAPPY TOWN」では、英語、中国語、スペイン語、ネパール語、フィリピン語の5か国語による多言語情報コーナーを放送し、栃木市の暮らしの情報をお伝えしています。

ぜひお聞きください!!!

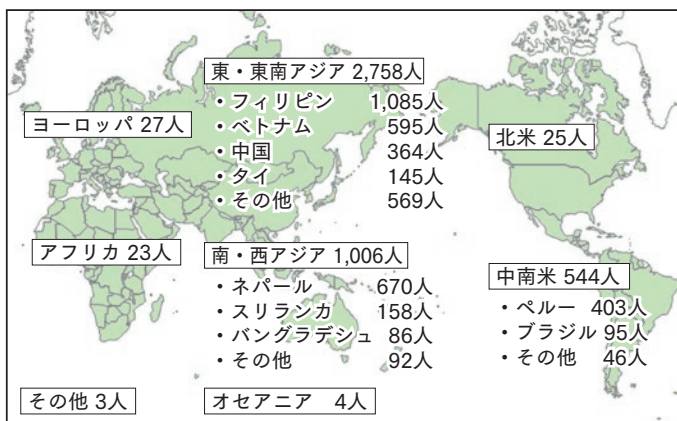
日本語教室



土曜日クラス	第1・3土曜日 10:00~11:30 大平公民館	無料	初級
日曜日クラス	毎週日曜日 10:00~11:30 第5地区コミュニティセンター	1か月 1,000円	初級

☆日常生活に必要な日本語を日本語指導ボランティアが教えます。

栃木市外国人登録者数



2019.3月末現在	男	女	合 計
外国籍 (栃木市全体)	2,740人	1,650人	4,390人
栃木地域	1,193人	897人	2,090人
大平地域	1,106人	502人	1,608人
藤岡地域	137人	53人	190人
都賀地域	131人	75人	206人
西方地域	28人	24人	52人
岩舟地域	145人	99人	244人
栃木市全人口	80,346人	80,429人	160,775人

発行

栃木市国際交流協会 (TIC)

〒328-0016

栃木市入舟町 15 番 5 号 栃木市役所入舟庁舎

TEL : 0282-25-3792 FAX : 0282-25-3928

E-mail : info@tic-tochigi.jp URL : http://www.tic-tochigi.jp

ホームページも
見てください!